

古代に見る
久呂保地域の変遷

昭和村ボランティアガイドの会

副会長 竹内 惣兵衛

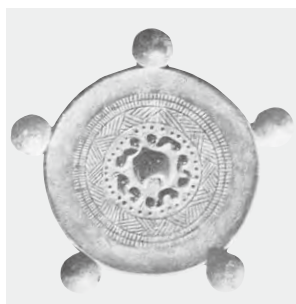
太古における久呂保地域も、日本列島形成に見る長い氷河期、そして、大雨、噴火と自然現象によって今日の大地がつくられたのである。

現在の利根沼田の中心地、沼田の地層より貝類が発見されていることから、その一説では、沼田大地の大昔は湖底で、その後の地殻変動や自然現象により今の姿がある。

しかし、久呂保地域においては、赤城山の噴火によってつくられた北の山肌に属した赤城高原の火山灰土地帯で、片品川、利根川左岸に位置する。低丘陵地から赤城山中腹へ向けて斜面に開ける原野（現畑地）を有する水利不十分な畑地帯で、標高で見ると最低三一〇mから八〇〇mとその差四九〇mもあり、気温差も大きく農業経営の複雑さと困難さを物語っている。河川は西北端に接するのみで、東から西に横断する御室沢、入沢久保、大久保、永井沢の四つ

の谷があるが、その水源は極めて乏しい。昔から灌漑の利に適さず、片品川、利根川の豊かな流水を眼下にして、水との戦いを強いられてきた。住人は、弥生式文化期の稲作が始まるまで、川や原野を走り回り、山に登っての狩猟や漁労、採集の原始生活を営んでいたのにちがいない。地域内に、古代人の遺跡や遺物が数多く出土していることから、如実に伺えるものである。

森下古墳からは、縄文時代の石斧や獣の皮をはぐのに使用されたと推定される石器類、川額字軍原の黒土に古代人の「住居跡」そして、縄文式土器の破片、さらには、森下からは碗・古墳時代の太刀・曲玉・五鈴鏡・陶器類等先史社会の人類文化の足跡の数々が認められるのである。



五鈴鏡・東京国立博物館蔵

久呂保農協から



地域包括支援センターだより

実践！介護予防 みんなで楽しくらくらく筋トレ体操♪

今月は『赤城高原ふれあいサロン』を紹介します。

■場所 追分住民センター

■日時 毎週月曜日 午前9:30～

☆ここが私たちの魅力☆

- 赤谷区と追分区を合わせて赤城高原を名乗り、約10年間続いているサロン。「これからも頑張って続けてほしい」と両方の区から補助金が支給され、毎週元気に活動しています。
- いつも笑顔があふれているサロンで、「ひとり暮らしでも、家族一緒に暮らしていても、みんな色々あるけど、ここに来れば笑って過ごせる」と話します。また、「週1回、予定が入っていると生活にメリハリが出る」という良い効果もあります。
- 住民センターにある花畑は、みんなで手入れしており、草むしりを頑張った後のお疲れさま会も楽しみのひとつ。今年はサロンのみんなで一泊旅行にも出かけてきたようで、仲の良さが伝わってきます。

みんなの声

- ・筋トレのおかげで膝が良くなった・お尻に足がつくようになった・現状維持できている・物知りがいて何でも教えてもらえる・お茶の時間が楽しい・おいしい漬物がある
- ・自分のために来ている・自主的に集まっているなど



「笑うことはまことに良いこと」と笑顔の皆さん



地域包括支援センターはサロンを応援しています！



秋の大運動会

村内各小中学校・保育園では、9月8日から9月22日にかけて秋季大運動会が開催されました。小中学校・保育園ともに、元気いっぱいに運動会を楽しんでいました。



第二保育園

みんなで楽しくおゆうぎ



大河原小学校

選手宣誓(上)と大混戦の徒競走



子育保育園

元気いっぱいゴールを目指せ!



南小学校

みんなで一緒に一笑懸命



第一保育園

仲間と表現したHANABI



東小学校

盛り上がった応援合戦



迫力の組立表現



昭和中学校

2・3年生女子による創作ダンス



白熱した騎馬戦